

通し番号	記入不要
------	------

分類番号	29-67-21-17
------	-------------

母豚飼料に添加した香料が子豚の嗜好性に与える影響に関する研究	
[要約] 母豚飼料へ香料（オレガノ、レモングラス、シナモン、クローブ）を添加した場合の、母乳への香り成分の移行と、同じ香料を子豚飼料へ添加した際の子豚の摂取量への影響を調査した。調査の結果、①母乳への香り成分の移行は確認できなかった。②母豚飼料に香料を添加しなかった場合でも、オレガノ、レモングラスでは子豚の飼料摂取量、増体量は高くなる傾向が認められたが、母豚飼料に香料を添加することでその傾向はより顕著になった。	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

飼料摂取量の低下から一時的な発育停滞を起こす離乳期の子豚を対象に、離乳期飼料に香料を添加することによって嗜好性を高め、摂取量の低下を予防することで生産性を向上させる技術を検討する。平成 29 年度試験では、母豚飼料へ香料を添加した場合の、母乳への香り成分の移行と、同じ香料を子豚飼料へ添加した際の子豚の摂取量への影響を調査する。

[成果の内容・特徴]

- 1 はじめに、一般香料を含まないように調整した無香料飼料を用意し、そこに香料（0.1 %重量：オレガノ、レモングラス、シナモン、クローブ）を添加したものを香料添加飼料とした。
- 2 試験概要は図 1 に示した。母豚への給与飼料の違いから、母豚に無香料飼料を給与するものを試験 1、母豚に香料添加飼料を給与するものを試験 2 とした。各試験の子豚を調査対象として、香料添加飼料を給与する試験区と無香料飼料を給与する対照区を設定し、飼料摂取量及び増体量を比較した。
- 3 香料添加飼料を給与した母豚について、乳に含まれる香り成分をガスクロマトグラフィー質量分析法で測定したところ、各香料の香り成分は検出限界以下であり、母乳への香料の移行は確認できなかった。
- 4 母豚に無香料飼料を給与した場合でも、オレガノ、レモングラスの試験区の子豚で飼料摂取量及び増体量が多くなる傾向が認められたが（試験 1）、母豚に香料添加飼料を給与した場合、その傾向はより顕著になった（試験 2）。

[成果の活用面・留意点]

特になし

[具体的データ]

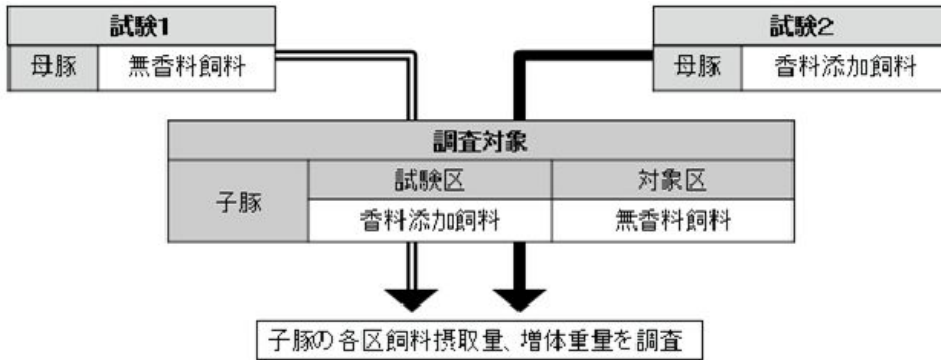


図1 試験概要

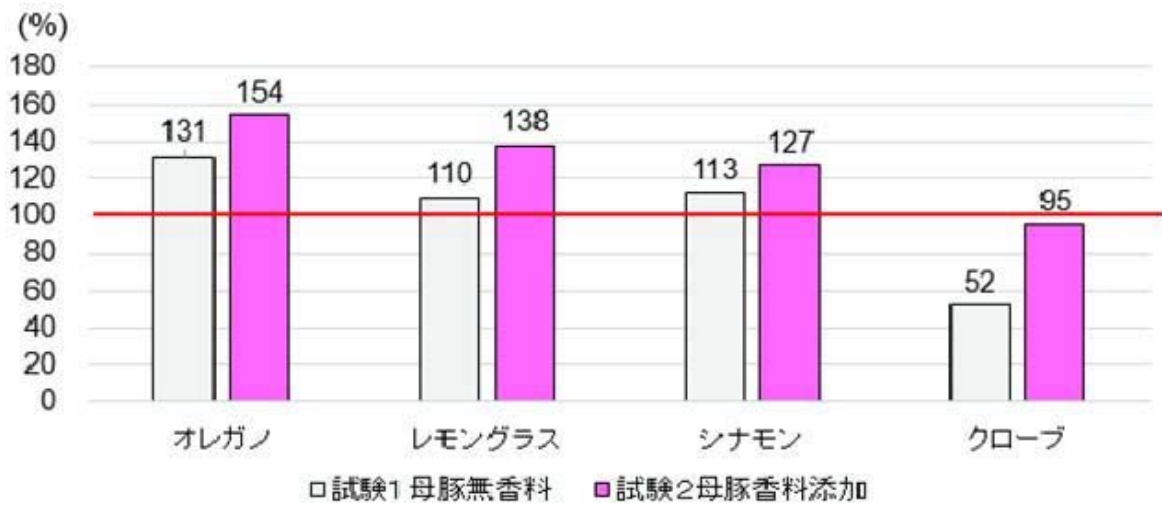


図2 試験1（母豚無香料）と試験2（母豚香料添加）の子豚の試験区飼料摂取割合（%）※各試験の対照区無香料飼料の摂取量を100とした値（線）と試験区香料添加飼料の摂取量を比較

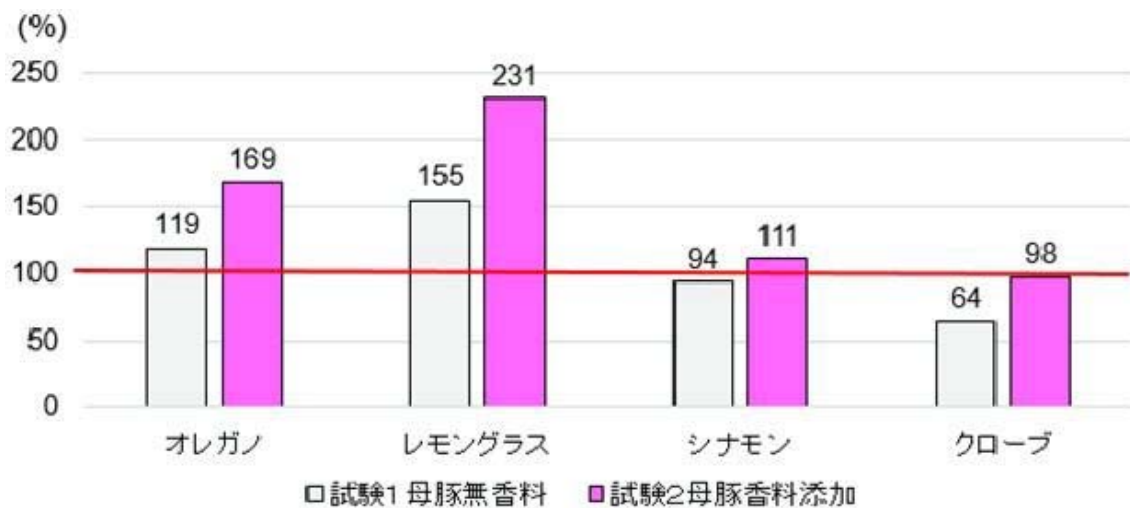


図3 試験1（母豚無香料）と試験2（母豚香料添加）の子豚の試験区増体重量割合（%）※各試験の対照区増体重量を100とした数値（線）と試験区香料添加飼料の増体重量を比較

[資料名] 平成 29 年度試験研究成績書

[研究課題名] 香料添加による子豚飼料の嗜好性改善および豚の生産性向上に関する研究

[研究内容名] 母豚飼料に添加した香料が子豚の嗜好性に与える影響に関する研究

[研究期間] 平成 29 年 8 月～平成 30 年 3 月

[研究者担当名] 前田高弘、白石葉子
(共同研究：高砂香料工業株式会社)